

第1回丘陵地区整備機構協議会要旨

平成20年9月18日
AM10時～11時45分
場所：だんじり会館 会議室

主な内容

事務局より、「岸和田市丘陵地区整備計画基本構想」に基づきまちづくりを進める組織として「岸和田市丘陵地区整備機構」が必要であり、その組織が担う役割を説明した。

しかし、現時点で機構を立ち上げるために決めておかななくてはならない事項が多くあり、それらを検証するために「岸和田市丘陵地区整備機構協議会」を設立し、計画を具体化していくことを確認した。

委員からは主な意見として、

- 「今後、考えなくてはならないのは三点である。①バラバラになっている土地を集約することが必要であるが、その個々の土地所有者がどんな土地利用を行うのか意向を確認する必要がある。②何かトリガーとなるものを作ってみて地域の魅力を上げることでそれに連なる開発が起こるかどうかを検証することが必要である。③まちが出来た後もお金を巧く生み出して生活の糧となるような仕組みを考えることが必要である。」
- 「農業でまちを元気にすると言う事に魅力を感じているが、一番のターゲットである団塊世代の取り込みなどを考えると、既に退職が始まっており、うかうかしていたら人を呼び込めなくなる。」
- 「地権者の意向を把握することが一番大切ではないかと思うが、そのアンケートを行う場合、地権者の方々に説明していく方法も考えておく必要があると思う。」
- 「地権者の意向がある程度判らないと絵も描けないし、絵がないとアンケートにも答えられないという部分もあるので何回も意向を確認していく必要がある。」
- 「団塊の世代の方々が百姓をするならある程度の覚悟を持ってほしいのと、やるにしても我々の様な年配の百姓が近くに居てこそ新しい農業が出来ると思うので早くしないといけない。」
- 「都市開発事業は経済の流れを大きく受けるので、小さく産んで大きく育てる取り組みが、最終的には大きな成果を得られると考えている。」 等その他。

※ 要約しています。詳細については議事録本文をご覧ください。